

平成 20 年 4 月 4 日

「NTTデータ地銀共同センター」への参加について

株式会社 足利銀行(頭取 池田 憲人)では、今般、株式会社 NTTデータ(本社 東京都、社長 山下 徹)が運営する「NTTデータ地銀共同センター」への参加を決定いたしましたのでお知らせします。

<NTTデータ地銀共同センター>

基幹システムとして「BeSTA」(Banking application engine for SStandard Architecture)を採用し、当行を含め地方銀行13行が参加(うち6行が稼働済み)している国内最大規模の地銀向け共同センター

<地銀共同センターの参加行(銀行コード順、敬称略、カッコ内は稼働開始時期)>

青森銀行、秋田銀行、荘内銀行(H18.5)、岩手銀行(H17.1)、
千葉興業銀行(H16.10)、北越銀行、福井銀行、京都銀行(H16.1)、
池田銀行(H17.1)、四国銀行、西日本シティ銀行、愛知銀行(H19.1)

1. 参加のねらい

(1)お客さまへのサービス向上

拡張性、柔軟性の高いシステムの採用により、お客さまのニーズにあった商品・サービスをより迅速に提供することができます。

(2)システムの安全性確保

東西2センター等の安全対策により、万一の大規模災害等に速やかな復旧対応が可能となります。

(3)経営の効率化

基幹システムを共同化することによりシステム開発運用コストを削減し、削減したコスト・経営資源を他の戦略的な分野に振り向けることで、経営基盤の一層の強化を目指します。

2. NTTデータ地銀共同センターの利用予定業務

(1)勘定系業務:預金、融資、為替業務、国際業務、外接系(ATM提携等)業務

(2)情報系連携業務:共通データベース、取引履歴検索、他各種情報の提供

3. 利用開始時期

NTTデータ地銀共同センターの利用開始時期は、関係者との協議を進めながら、平成 23 年中を目指してまいります。

以 上